



被爆80周年

Piece of Peace  
平和のかけら

# 第32回 広島交響楽団 島根定期演奏会

2025  
9.28(日)

14:00開演  
(13:15開場)

## 出雲市民会館

### 大ホール

出雲市塩冶有原町2丁目15番地

指揮

### 飯森 範親

Conductor : Norichika Iimori

©山岸伸

## 作曲家二人展 “Tchaikovsky & Dvořák”

チャイコフスキー

### ヴァイオリン協奏曲ニ長調作品35

Tchaikovsky : Violin Concerto in D major Op.35

ドヴォルザーク

### 交響曲第9番ホ短調作品95 B.178 「新世界より」

Dvořák : Symphony No.9 in E minor Op.95 B.178 “From the New World”

数々のコンクールでの受賞歴と「第25回出光音楽賞」をはじめとする新人賞を

次々に受賞するなど、圧倒的な実力で人気の周防亮介が広響と初共演。

指揮は広響の元正指揮者で、国内有数のオーケストラポストを歴任する飯森範親だ。

広響正指揮者退任後、互いに成長を遂げた新たな飯森・広響による

「新世界交響曲」にも期待が膨らむ。

ヴァイオリン

### 周防 亮介

Violin : Ryosuke Suho

©JUNICHIRO MATSUO

◆入場料(全席指定・税込)／一般:5,000円 学生:1,500円

※学生席は小学生以上25歳以下の学生が対象。当日要学生証。

◆チケット発売日／2025年6月28日(土)／広響事務局は6月30日(月)

◆プレイガイド／出雲市民会館、ビッグハート出雲、平田文化館、大社文化プレイスうらら館  
広響webチケット、広響事務局

※やむを得ぬ事情により、出演者・曲目等を変更する場合がございます。  
※就学前のお子様のご入場はご遠慮ください。  
※開演時間に遅れられた場合、入場に制限がございます。

■主催／公益社団法人広島交響楽協会

■共催／公益財団法人出雲市芸術文化振興財団、出雲市、  
出雲市教育委員会、出雲メセナ協会

■助成／



文化庁文化芸術振興費補助金  
(舞台芸術等総合支援事業(公演創造活動))  
| 独立行政法人日本芸術文化振興会

■特別協賛／ Enercell 中国電力

■協賛／株式会社中筋組、福岡商事株式会社、  
株式会社内村電機工務店、鹿島建設株式会社、  
株式会社フクダ、三和興業株式会社、神州電気株式会社、  
大成電気水道工業株式会社、大福工業株式会社、  
株式会社中電工 出雲営業所、美保鉄筋株式会社

■後援／島根県、公益財団法人しまね文化振興財団

お問い合わせ (公財) 出雲市芸術文化振興財団 TEL:0853-21-7580(土・日・祝日・毎月最終月曜を除く 9:00~17:00)  
広響事務局 TEL:082-532-3080(平日 9:00~17:20)

出雲総合芸術文化祭



## 作曲家二人展 “Tchaikovsky & Dvořák”

数々のコンクールでの受賞歴と「第25回出光音楽賞」をはじめとする新人賞を次々に受賞するなど、圧倒的な実力で人気の周防亮介が広響と初共演。指揮は広響の元正指揮者で、国内有数のオーケストラポストを歴任する飯森範親だ。2021年にリリースされた周防亮介初のコンチェルト・アルバムCD「チャイコフスキー & メンデルスゾーン：ヴァイオリン協奏曲」で指揮を執ったのも飯森範親で、同コンビでのチャイコフスキーの協奏曲が生で聴けるまたとない機会。広響正指揮者退任後、互いに成長を遂げた新たな飯森・広響による「新世界交響曲」にも期待が膨らむ。



©山岸伸

### 指揮：飯森 範親 Conductor : Norichika Iimori

桐朋学園大学指揮科卒業。ベルリン、ミュンヘンで研鑽を積み、これまでにフランクフルト放送響、ケルン放送響、チェコ・フィル、モスクワ放送響等に客演。2001年、ドイツ・ヴュルテンベルク・フィルハーモニー管弦楽団音楽総監督（GMD）に着任、日本ツアーも成功に導いた。国内では1994年以来、東京交響楽団と密接な関係を続け、正指揮者、特別客演指揮者を歴任。2014年、日本センチュリー交響楽団の首席指揮者に就任。2015年より世界的にも例の少ないハイドンの交響曲全曲演奏&録音という一大プロジェクトを手掛け、2025年3月に完結させた。オペラでも高い評価を得ており、新国立劇場「夏の夜の夢」「コジ・ファン・トゥッテ」などを指揮し、好評を博した。2026年3月には新国立劇場「ドン・ジョヴァンニ」への出演が予定されている。現在、パシフィックフィルハーモニア東京音楽監督、群馬交響楽団常任指揮者、いずみシンフォニエッタ大阪常任指揮者、東京佼成ウインドオーケストラ首席客演指揮者、中部フィルハーモニー交響楽団首席客演指揮者。2025年4月より武蔵野音楽大学客員教授に就任し、後進の指導にも力を注ぐ。

オフィシャル・ホームページ <http://iimori-norichika.com/>

### ヴァイオリン：周防 亮介 Violin: Ryosuke Suho

2016年ヴェニツァフスキ国際コンクール入賞をはじめ、日本音楽コンクールやオイストラフ国際コンクールなど、国内外のコンクールで優勝や入賞の実績を持つ。12歳で京都市交響楽団との共演を皮切りに、パリ管弦楽団やNHK交響楽団など数多くの国内外オーケストラと共演。15歳で初リサイタルをおこない、清水和音や上田晴子など第一線で活躍するピアニストと共演を重ねる。2024年4月にはサントリーホール大ホールにて「周防亮介の協奏曲“パガニーニ・ブルッフ・シベリウス”」と称して一夜で3曲の協奏曲を演奏するなど、その挑戦は止まらない。CDはオクタヴィア・レコードより『パガニーニ：24のカプリース』『歌う旅路』など5枚のアルバムをリリース。

東京音楽大学特別特待奨学生として学び、在籍中にロームミュージックファンデーションの奨学生にも選ばれる。東京音楽大学を修了後、江副記念リクルート財団奨学生として、メニューイン国際音楽アカデミーに留学。ヴェンゲーロフ氏、カピュソン氏のもと研鑽を積んだ。

使用楽器は宗次コレクションより貸与されている1678年製ニコロ・アマティ。



© JUNICHIRO MATSUO

# 一日も。百年も。

